

平成27年度第4回さぬき市行政評価委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成27年10月22日（木）18時～20時40分
- 2 場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
- 3 出席者 【委員】植村委員 鈴木委員 千田委員 津村委員 長山委員 奈良委員  
 【事務局】政策課長 津村係長  
 【評価対象所属】市民部長、人権推進課長、事業担当者1名  
 総務部長、秘書広報課長、事業担当者1名  
 総務課長、事業担当者1名  
 （政策課長）、事業担当者1名  
 【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会  
 2 委員長あいさつ  
 3 議事  
 (1) 事務事業外部評価  
 ①人権推進課  
 ②秘書広報課  
 ③総務課  
 ④政策課  
 (2) 次回開催日等について  
 4 その他  
 5 閉会
- 5 会議内容

| 発言者   | 意見概要  |
|-------|---|
| 事務局   | ただ今から平成27年度第4回さぬき市行政評価委員会を開会する。委員長から挨拶をいただき、引き続き進行をお願いする。   |
| 委員長   | 本日は、第4回目の行政評価委員会となります。いつも通り4件を予定している。原則的に、説明5分、質疑30分、そのあと評価という流れになります。早速ですが、人権推進課の隣保館運営事業について、説明時間は5分と短いので、適宜省略しながらご説明下さい。それではよろしく申し上げます。 |
| 人権推進課 | <事業説明>  |
| 委員長   | どなたからでもご質問をどうぞ。では、私から。一般的に、差別実態の指標として高校進学率というものがある。どこまで上がればいいのかという議論はさておき、データはあるのですか。   |
| 人権推進課 | 個人情報の問題もあるので、何%という細かい数字までは把握していないが、100%に近い数字で高校に進学されていると聞いています。ここ数年の話ではございますが。  |

|       |  |
|-------|--|
| 委員長   | あと、これもよく言われるのですが、差別事象や差別発言、落書きとかですが、認知件数は分かりますか。法務局が発表していたりしますが、原則は、市役所が法務局に伝えるという流れですか。   |
| 人権推進課 | そうです。ここ数年、市内では（部落差別に関する）落書きはありませんが、お遍路さんの休憩所に韓国人を差別する落書きがございました。市内には結願に続く3つのお寺がある関係で、5か所9枚、（県内）全体でも15、16枚なので、（この件に関しては）県内で一番多かった状況です。この件に関しては、市に連絡があったものは県につないで、県が対応しました。資料にも書かせてもらっているが、（市内でアンケートをとったところ）約4割以上の方が身元調査は必要だと答えているので、差別用語についても、差別するつもりで言った言葉でなくても差別につながる場合もございますし、逆に、確実な意思をもって、口から口で差別を伝え、伝承していくことも大変な問題と考えています。 |
| 委員長   | 指標として、身元調査を取り上げることが一番適切かと思います。身元調査は今でも無くなっていないのですね。それは特に、就職時ですか、結婚時ですか。  |
| 人権推進課 | 主に結婚に関して、です。就職のときの身元調査は一切しないようになっていきますし、面接時においても、本人の思想や家の宗教など、質問してはいけない12項目がございますので、就職に関しては比較的差別はなくなってきていると思いますが、ゼロではないと思います。  |
| 委員長   | 結婚や見合いのときに興信所に頼むという系統の身元調査ですね。   |
| 人権推進課 | はい。県内では、今ではほとんどないとは思いますが、見合いのときに使う釣書の中に、戸籍まで書かないといけなかった。それで身元確認をしていましたし、問い合わせで家の近所を調べに行くというのも昔から根強くあったという背景もありますので、改革していかななくてはいけないと思って取り組んでいます。  |
| 委員    | 隣保館運営事業の他に、同和対策事業はあるのですか。  |
| 人権推進課 | あります。  |
| 委員    | 隣保館は、全市にあるのですか。各市に1つとか。旧5町にもそれぞれありましたか。  |
| 人権推進課 | 市内の隣保館は、昔から、長尾地区だけです。  |
| 委員    | 隣保館には休館日はありましたか。だいたい何割くらいの稼働率ですか。全く使われていない日もあるのでしょうか。  |
| 人権推進課 | 休館日は、土・日・祝日です。ほとんど毎日、パソコン教室や生け花教室などを開催していて、全く予定がない日はありません。ただ、休館日であっても、館の行事を行うときには特別に開けています。  |
| 委員    | 旧館ですが、閉館してだいぶ経つと思いますが、相当古い建物なので、地元の要望もあると思いますが、なるべく早く取り壊したらいいと思いますが。   |

|       |   |
|-------|---|
| 人権推進課 | 地元自治会には自治会館がないので旧館を自治会館として利用しているのと、隣保館には倉庫がないので、イベントの材料などを置いています。   |
| 委員    | 私が入っている自治会でも、自治会館は、1千万円集金して作った。基本的には、自治会で取り組むものだ。   |
| 人権推進課 | 計画としては、平成30年頃を目途に、建物を除却してしまうかという方向性を出しています。   |
| 委員    | どのような教室をしているのですか。修了証などを発行しているのですか。  |
| 人権推進課 | 1つは就労支援ということで、エクセル・ワード・パワーポイントが使えることが就職の条件となってきたこともあるので、そういう勉強をしたいという方々にお越しいただいて、講師も呼んで、講習会を開催している。修了証までは出していない。昼と夜のコースがあって、多い時で14～15人の参加がある。パソコンは9台なので、あまり多いと対応が難しくなります。子育てが終わったぐらいの30代、40代ぐらいの参加もあります。受講料として、月1,000円いただいています。 |
| 委員    | 昔と比べると、差別というのは増えていると思いますか、減っていると思いますか。といいますのも、以前は、分かりやすい差別があり、裁判事件とかにもなりましたが、今は混在という感じで分かりにくくなっていますが、3年くらい前には、まだ市内でも部落差別を感じるがありました。隣保館の利用も、地域住民まで広く使っていたいただいているようなので、今はどうなのかと思って質問しました。   |
| 人権推進課 | 今は、目に見えた差別というものは若干減りつつあるように思いますが、心の中での差別、言葉での差別はまだあると思います。隣保館で行っている教室には、カラオケにしても生け花にしても混在で取り組んでいただいている。部落は怖い、という意識が全てなくなったとは思いませんが、日々の取組の成果として減ってきているようにも感じています。  |
| 委員長   | 隣保館の運営を指定管理に変更したりはしないのですか。  |
| 人権推進課 | 指定管理の良いところもあるとは思いますが、市が責任をもって運営に取り組んでいくことが1つの差別解消への道だと思っていますので、市で行っていく方針です。   |
| 委員長   | 隣保館に市の職員は常駐しているのですか。  |
| 人権推進課 | はい。正規職員が1名、館長として嘱託の非常勤職員が1名います。ただ、正規職員といっても、この方は今年3月に定年になって、今は再任用職員となっています。複数いないと、しょっちゅう現地学習もやってくるので1名では到底対応できないです。   |
| 委員長   | 駐車場ですが、近くの民間企業の駐車場を使っているときがあると思いますが、提携しているのですか。   |
| 人権推進課 | 隣保館のイベントのときでどうしても駐車場が不足しそうなきには、近くの企業や施設の駐車場を無料で貸していただけるように交渉しています。  |

|       |   |
|-------|---|
| 委員長   | <p>それでは評価シートの記入をお願いします。</p> <p>&lt;評価シート記入&gt;</p>  |
| 委員長   | <p>それでは、秘書広報課のホームページ管理運営事業に移ります。担当課から5分程度、適宜省略しながら事業説明をお願いします。そのあと、質疑応答を30分程度行います。では、どうぞ。</p>   |
| 秘書広報課 | <p>&lt;事業説明&gt;</p>   |
| 委員長   | <p>それではご質問をどうぞ。</p>   |
| 委員    | <p>市の情報を知りたいときには市のホームページはよく見るのですが、観光に行くときには、その自治体のホームページを見ている。そう考えたとき、さぬき市のホームページは利便性が悪い。他の自治体では、例えば紅葉情報とか、パッと見たら見どころがすぐに分かって、頻繁に更新されているが、さぬき市は更新されていない。移住の方は少し更新しているようだが、市外の人が、さぬき市に来たいというときに観光やイベント情報がタイムリーに更新されていないと役に立たないし、どうぞ来てください、という視点でのホームページづくりができていないと思います。広報紙も同様だが、ホームページについては、トップページを見たときに、(中身を)見たいという気持ちにならない。トップページから各情報へのアクセス方法が非常に分かりにくい。言いたいことは分かっていると思うので、取り組んでいただきたい。</p> |
| 秘書広報課 | <p>タイムリーな更新ができていないのは御指摘のとおりですが、観光協会や音楽ホールなどの情報は、ホームページ上にリンクを貼り付けているのでそちらのほうへ、となりますが、委員がおっしゃられたようなことは、最近多々言われていますので、すぐに解決するのは難しいとは思いますが、アクセス数が増えるように改善方法を検討していくべきと思っています。</p>  |
| 委員    | <p>アクセス数は近隣自治体よりも上回っているようだが、市民にとっては、例えば申請書などは、市役所に行かなくてもいいように、できる限り自宅でダウンロードできるようにしてほしいが十分でないように思える。そして、市外の人に来ていただけるようなPR効果の高いホームページづくりもしてほしい。要望に近くなりましたが。</p>  |
| 委員長   | <p>委託内容ですが、一番最初にホームページの構成を業者にアドバイスしてもらって作って、市で情報更新をおこなっているのですか。</p>   |
| 秘書広報課 | <p>そうです。</p>  |
| 委員    | <p>ではもっと頻繁に更新できそうなものだが。</p>   |
| 委員    | <p>職員がするとなると、どこでもそうだが、通常業務以外で行うことが負担になってくる。</p>   |
| 委員    | <p>県も観光に力を入れているし、アクセスも多いのであれば、より多くアクセスしてもらえようとするためにも情報の更新は大事なので、方法を考えればよい。</p>  |
| 委員長   | <p>効率性から言えば、ラジオ広告や吊り広告などに比べたらホームページでの周知はコ</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>ストーリーパフォーマンスが高いので、情報提供にかかる費用や人員をホームページにまわした方がいいと思える。</p>   |
| 委員    | <p>多くの人がスマートフォンを使って、ツイッターやLINEなどで情報を得ている。そういうものを使う工夫も必要だろう。</p>   |
| 委員    | <p>ホームページにしても広報紙にしても、市を売り出す絶好の媒体だと思う。人口を増やすにしても、積極的に市の魅力をPRしないと、ホームページなどでの広報の出来栄で、来る人も増えてくると思うので、もっと力をいれてほしい。</p>   |
| 委員    | <p>リニューアルの年以外は、予算は百数十万円ぐらいだが、毎年この経費の中で委託料はあるのか。</p>   |
| 秘書広報課 | <p>追加で変更するような業務は入っていないが、主に保守運営のための委託料となっていて、100万円程度です。</p>  |
| 委員    | <p>さぬき市として、情報戦略としてどう考えるのか。そうでないと、小手先で終わる。今後どうします、では遅い。企業や一部自治体も、情報がベースということでCEOなどと同じレベルの責任者を置いて、総括的に取組を進めている。そんなこともない中で、100万くらいの予算で、ホームページも広報紙もやらないといけなくなっている。寒川支所で作業している番組制作の担当者なども一緒になってさぬき市全体を盛り上げたり、アクセスしやすくしたりする。バナーを貼っている、と言っていたが、メリハリがなければ意味がない。さぬき市に必要なバナーはいつも一緒ではないはず。県内の自治体のアクセス数は出ているが、そうではなくて、全国でも突出している自治体があるはず。そういうところを参考にしなければいけない。CIO、要するに、チーフ・インフォメーション・オフィサーの重要性をどのように考えているのか。経営者と同じくらいの重要なこととして、企業も一部自治体も専門部署を置いて取り組んでいる。人を呼んだり、移住を促進するのも、ネットで情報を出すのが一番早くて、安くて、便利ははずだ。市の自己満足ではなくて、一般の人が、スマートフォンで市の情報をすぐにとれるようにしてほしい。</p> |
| 委員長   | <p>市のホームページに関する予算よりも、広報紙の発行に対する予算は多いとは思いますが、お年寄りのことを考えると、どうしても広報紙は必要だろう。民間企業であれば、切れ、で済みますが、地方公共団体では難しいだろう。</p>  |
| 委員    | <p>今年の国勢調査もインターネット回答は4割程度だったと聞いている。田舎でもインターネットができるし、高齢者もパソコンを学んだりしているので全員が、紙が必要ということでもないと思う。</p>  |
| 委員長   | <p>国勢調査は調査票の配布は必要に応じてであったと思う。広報紙も同様に、希望者だけに配るということも可能なのだろうか。</p>  |
| 委員    | <p>校正などが大変で、高いので、1部つくるのであれば、少し部数を減らしたところでたいした経費節減にはならないと思います。県外で、広報紙をやめてインターネットに特化している自治体はありますか。</p>  |
| 秘書広報課 | <p>ないと思います。</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 委員長   | あと30年くらいすれば、広報紙もなくなるのかもしれないが。   |
| 委員    | そんなにかからないと思います。今、紙がどんどんなくなっていて、学会書類もほとんど廃止になり、アイパッドを利用している。   |
| 委員長   | タブレットがすごく安くなっているのです、そのうちに、それを配るほうが安いし効率的になって、紙がなくなるかもしれない。私は、100万円の予算は安いと思っていて、100万では何もできまい、というのはその通りで、だから、どこから予算を捻出するのかといえば、広報紙が適当なのではないかと思ってしまう。読んでいる人もいるとは思いますが、自分を含め、読まない人に配るのが無駄なような気がしてならない。すぐにどうこういうことは難しいと思うが、5年くらいのスパンがあれば広報については抜本的に立て直せるような気もしています。他にどなたか。 |
| 委員    | 広報紙の話がでたのでついでに言わせてもらおうと、差し込みチラシが多すぎる。配る方にも見る方にもデメリットになる。取捨選択をしてほしい。   |
| 委員    | それは、営利目的のチラシですか。  |
| 委員    | 営利目的であればお金をとることもできるのだが、そうではないのです。   |
| 委員    | 逆を言えば、広報紙も発想を転換して営利広告を募集して印刷代くらいを稼いでもいいのかもしれない。   |
| 委員長   | 印刷段階で、最終頁を広告にするのもいいかもしれないが、例えば裏面が食べ物屋さんの広告だったら、見た人が、あれ？と思うかもしれないし、苦情を言う人もいるかもしれない。  |
| 委員    | 市の年配の方は、ホームページなどの情報発信にお金をかけるのはもったいないと考えすぎなのではないか。一番大切なのはインフォメーションなのに。情報発信しないと、市がなにをしているのか分からない。   |
| 委員    | 申請書をダウンロードしてPDFで送れば手続きができるといった文書サービスは、ホームページを利用してできるようになっていますか。   |
| 秘書広報課 | 申請書や応募用紙がダウンロードできるくらいです。  |
| 委員    | もちろん、セキュリティが必要な、個人を確認しないといけないような申請は難しいですので、なんでもかんでもということはできません。いろいろな情報を募集したり、簡易な申込を一括で受け付けたりできれば、窓口の人員や業務の削減につながることもできる。  |
| 委員    | ホームページの管理は秘書広報課で、一元管理で行うべきだ。課に任せると、ページ構成が煩雑になって見づらくなる。今も、各課の原稿作成者寄りになっているとは思いますが。   |
| 委員長   | 学部のホームページの評判が悪かったので、専門の業者に見てもらった。そうすれば格段に見やすくなったと好評だった。やはり餅は餅屋で、お金をかけるといいものができた。地元の業者だったが、受験率にも響いてくるので、お金をかけて正解だった  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>と思っている。市は、受験率のようなわかりやすい指標がないので難しいのかもしれませんが、よろしいでしょうか。それでは評価シートの記入をお願いします。</p> <p>&lt;評価シートの記入&gt;</p>  |
| 委員長 | それでは総務課の総務管理事業に移ります。5分程度で説明いただき、30分程度の質疑応答を行います。それではお願いします。   |
| 総務課 | <事業説明>  |
| 委員  | 1枚当たりのコピー代はいくらくらいですか。入札で業者を決めるのか。   |
| 総務課 | 1. 2円程度です。入札で決めています。  |
| 委員  | コピーにしても紙にしても、個人の意志が大きく左右すると思うので、各課で使用枚数を把握することも大事だと思うがいかがか。   |
| 総務課 | かつてはカウンターを利用していたこともあったようだが、今、各フロアに置いてあるコピー機は、一般的な紙面コピーでも利用しているが、高機能化しているので、各自のパソコンから直接データ転送して打ち出している。各課に置いているプリンターは、原則として財務端末用となっているが、デスクの近くにあるので、個人パソコンからデータ転送して出力している場合もある。 |
| 委員  | ネットワークプリンターとは別にあるということですね。  |
| 総務課 | そうです。ただ、各課のプリンターは、高機能プリンターでは使用できない、裏紙での打ち出しなどに利用しています。  |
| 委員  | 裏紙も含め、不要となった紙は他の部署が廃棄しているのですか。もしくは、業者に、廃棄手数料を払ったりしているのですか。  |
| 総務課 | 個人情報がかかっていない、印刷に失敗した紙や、不要になった資料などは、決められたときに自分たちで縛ってごみに出すときもあるし、毎日のゴミに出したりしていますが、個人情報がかかっているようなゴミは、市役所から香川東部溶融クリーンセンターまで、決まった日に、業者にお金を払って捨ててもらっています。                           |
| 委員  | 実際に、業者は儲かっているので、ゴミを提供してくれたところにお金がバックされることもある。ゴミを資源と考えて利用できるかも考えて、廃棄コストを稼ぐつもりの方策を考えてもいいのではないのでしょうか。  |
| 委員長 | 支所の紙はどうしているのですか。  |
| 総務課 | 入札で決まった業者が、建物別に納品しています。   |
| 委員長 | ずいぶん昔、コピー用紙の納入価格が異常に低いということで、ダンピングはなくて入札の適正価格で買っていて、郵便なども一番適切な価格で取引していると。   |
| 総務課 | 市役所との契約で、一般の方が郵メールで出すよりも安くしていただいている。郵便  |

|     |  |
|-----|--|
|     | を出すので、違う業者に頼むのは難しいと思えるし、同じなので安くなっているとも思います。  |
| 委員  | 政策課は、行政評価委員会も行革の委員会も、資料はメールで届く。そうすると郵便代もいりませんし、市は、紙代もいらぬ。そのやり方を各課に広めていけば、かなりの節減になると思う。さぬき市はインターネット回線が普及しているの、それを利用したほうが良いと思います。他の課も同じようにしているのですか。      |
| 総務課 | メールで送れるものは送っていると思います。ある程度頻繁に行われる会議や、数年かけて行うような会議であればそのような対応もできると思いますが、ある年に1回や2回程度であればなかなか難しいとも思いますが、利用できる場合は利用していると思っています。                             |
| 委員  | 具体的取組や改善内容欄だが、郵送については書いているが、コピー関係については書いていない。メールで送るといったことなどを、なるべく浸透させてほしい。もう少し具体的な方法を総務課から各課に指示するという取組があってもいいのではないだろうか。こうすればあれが進む、というようなことをいくつか考えてほしい。 |
| 総務課 | はい。  |
| 委員長 | 企業に何か文書を届けるという場合は、企業は、紙よりもデータのほうが保存しやすいので、データ送付のほうが喜ばれるかもしれない。個人だと、紙のほうが安心だという方のほうが多いかもしれないが、徐々に変わっていくかもしれないが、経済産業省のような企業に送付するものが多い国の機関はデータ送付に変わった。    |
| 委員  | 電話代はどこが所管しているのか。   |
| 総務課 | 管財課です。   |
| 委員長 | 昔はFAXをよく使っていたが、このごろはどうですか。   |
| 総務課 | 使わないことはないですが、頻度は下がっています。   |
| 委員長 | 以前、高松国税局に関わった時に、インターネットは使っていません、と。完全に遮断しているので電話かFAXでお願いしますと言われてビックリした。市役所はそこまでしなくてもいいとは思いますが。特段のご質問はありませんか。それでは評価シートの記入をお願いします。                        |
|     | <評価シート記入>  |
| 委員長 | それでは、本日最後の政策課の定住促進事業に移ります。5分程度で説明いただき、その後30分程度の質疑応答を行います。では、お願いします。  |
| 政策課 | <事業説明>   |
| 委員長 | それでは質問をお願いします。   |
| 委員  | 結婚定住奨励事業の申請者の数が、計画値と実績値であまりに違う。計画値を下げた   |

|     |   |
|-----|---|
|     | らいかがか。  |
| 政策課 | 結婚定住奨励事業の内容を考えていた当時、年間の結婚届出実績をもとに不足が出ないよう、最大数で計画したので多めになっていた。昨年度、今年度の実績はわかってきたので、平成27年度以降の計画値については、ある程度、現状に沿いながら考えることができると思います。   |
| 委員  | 先日、お試しハウスの初めての利用者が来たようだが、どのような流れで利用することになったのか。利用者の親戚などがさぬき市にいたのでしょうか。   |
| 政策課 | 今ちょうど入居されていますが、八尾市から来られて、ご家族4人で10日間ほど滞在することとなっています。かねてからさぬき市に移住を検討していたということで、小学校の下見などをしたという相談を受けていた。お試しハウスが完成したことで、このような相談を受けていたことを思い出し、ホームページ等での周知とあわせてこの方に連絡をとったところ、利用申請があったという流れです。親戚などは市内にはいらっしやらないそうです。  |
| 委員  | 市外からの転入人口がどの程度あるのか把握していますか。把握していたら教えてください。社会増の人数と同じであると考えていいのでしょうか。   |
| 政策課 | そうです。社会増の人数も報告方法はいろいろありますが、年度では市で独自に集計していきまして、ここにある人口ビジョンの中にある数字で言いますと、2013年が転入数1,264人、転出数1,378人でマイナス114人となっています。この増減数については、国勢調査の年に行うのが一番明確ですが、住基でも出ていまして、おおむね社会減で推移している状態ですが、最近で見ると、マイナス347人というのが、一番高かった、社会減の数字です。2009年になります。2014年度はマイナス1との結果もありますが、外国人研修生が多く来られたことも影響しているのではないかと考えています。歴年になると、マイナス40程度になるのですが、年度でいくとマイナス1ですので、これがひとり歩きしてもいけないとも思っています。おそらく、27年度数字をとったときに、減少幅が広がるでしょう。 |
| 委員  | 転勤や結婚とかではなく、ポンと入ってきた純粋な移住者は把握していますか。  |
| 政策課 | それは、転入届だけではわからないことなので、きちんとした数字を把握することはなかなか難しいです。しかし、転入届を出しに来てくださった方へは、任意で窓口アンケートをとっています。県が公表している移住者数は、市町の積み上げ人数が基礎となっています。  |
| 委員  | お試しハウスの利用者のような、結婚とかではなくて転入してきた方を把握して、そういう人に、さぬき市の良さを聞き取って、それをインターネットなどでPRすれば、それを見て移住者が来てくれるかもしれない。小豆島や三豊は、PRを頑張っている気がするのでさぬき市も頑張りたい。定住奨励事業のように、住民が出ていけない施策もありたいが、市外からの転入者は純増になるので積極的に進めてほしい。  |
| 政策課 | 人口ビジョンでは、2060年までの人口予測を出しているのだが、前回国勢調査では53,000人だった人口が、24,000程度に減る予測も出ている。地方創生を考える中で、さぬき市では、自然増をなるべく推進することと、社会増については、   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>移住者を増やすという可能性はかなり低いので、少なくとも住んでいる方が出ていかなないように、住んでいる方にメリットのある施策もとっていく。例えば、出て行ったけれどもこれから帰ってきてくれる方はいないかな、ということで、三世同居や近居を考えている方に向けた施策、結婚を機に市外に出て行こうとする方を思いとどまらせる施策を行っています。人口減少は全体の流れで覆すことはできないので、その減少を遅らせることに特化してやっていくということで、2060年目標を32,000人として取り組むこととしています。</p>  |
| 委員  | 弱気な数字ですね。   |
| 委員  | 堅実な数字だと思います。  |
| 委員  | 高松市とのネットワークを進めることを書いていますが、それによって人口の流出は減るのでしょうか。   |
| 政策課 | 定住自立圏を締結してしまして、来年度からは連携中枢都市圏となりますが。その中で、高松市が高松市だけのことを考えるのではなくて、圏域全体のことも考えて連携していきましょう、と。例えば、同じような施設を乱立させたり、取り合いするのではなくて、広いエリアの中で考えていこうという話です。  |
| 委員  | 今までも、さぬき市は高松市への転出が多かったはずだ。違ってきたのは、徳島文理大学ができたことと、原に保健医療大学ができたこと。ここの通っている人たちが、さぬき市志度にも住んでくれている。この人たちの定住や、受け入れする企業を増やすということも考えていかなければいけないと思う。  |
| 政策課 | それは、それこそ、まち・ひと・しごとの創生につながるのですが、お金で釣ってきてもらうというのではなくて、地方創生を通してまち・ひと・しごとの循環をうまく作っていくというのが大きな宿題となっています。いろいろと施策を考えているのですが、総合戦略では5年間の戦略を練って公表していくのですが、一朝一夕には進まないのが当然なので、ひとつずつ、担当部署が考えて取り組んでいくことが重要だと思っています。   |
| 委員  | 知事が文理大学に來られて学生と話し合ったのだが、この中で住民票を変えている人はいるかとの話になって、誰もいなかった。大学としても、来年からは選挙のこともあるので、住民票を変えさせる取組も検討しているのだが、やはり、行政が積極的にメリットを出さないと定住は難しい。話は少し違うが、大学近くの治安が非常に悪い。毎月のように事件が起きている。市内に下宿している学生が、治安が悪いので引き上げるようになったことも多い。国道11号線沿いでも事件は起こっていて、警察を呼んでもすぐには来ない。せつかく県外から来て、さぬき市で住んでいたのに出ていく。定住には、治安の問題は大きいと思います。学生が増えるというのはまちに活気がでる。三木町もそうだ。学生がいて、医者がいて、職員がいて、研修医がいて、合わせると3,000人近く、患者なども合わせると5,000人近くがその周辺で動いている。三木町が合併しなかった理由もそれも含んでいると思う。若い彼らは、いいと思えば情報発信してくれる。さぬき市は、発信できる魅力をアピールすることと、働く場所の確保も必要でしょう。最近特にそう思います。 |
| 委員  | 予算ですが、全て一般財源ですか。地方創生のお金は入っていないのですが。   |

|     |  |
|-----|--|
| 政策課 | はい。一般財源のみです。地方創生のお金は、普通交付税の中に盛り込まれていることになっています。26年度に補正した7,000万円くらいの交付金を27年度に繰り越して、主には子ども医療費の拡充や、リフォーム補助金事業などに使っています。定住促進事業に、直接あてて使えるようなことはありませんでした。  |
| 委員  | 私が暮らしている地区は、学校も近くて便利で暮らしやすい所ですが、かつては子ども会のメンバーが80人ぐらいいたが、今では15人になった。なぜかという、老人が非常に増えて1人暮らしが多い。このまま進んでいくと、老人団地といわれるようになるだろう。土地も70坪くらいあるので、どうして若い人が建替えたりして入ってこないのかなと思っていて、それは近くに職場があまりにもないからだと思う。職場さえあれば若い人は来てくれると思うので、定住のことを考えたときには、奨励金も大事だと思うが、職場づくりの施策を考えてほしい。数十年後もさぬき市で働いて生活できることをアピールしないと定住にはつながらないと思う。 |
| 政策課 | 企業誘致等も行っていますし、中小企業の支援も行っているが、地域の資源を活かした商品開発やPRの仕方のマッチングも商工観光課を主に取り組みを進めている。仕事については、定住促進事業とは直接関係しませんが、まち・ひと・しごとの創生の中で、いろいろと担当課が考えているところです。簡単にできることではありませんが、様子を見てほしいと思います。   |
| 委員  | 会社がないことには定住は難しい。企業の数がどうなっているのか、利益が伸びているのかいないのかなど、これは商工観光課だけで行うことではなくて、もっといえば、市長自らが乗り出していくべき仕事だと思います。定住者を増やすためには、今までの甘すぎた商工行政を見直していくべきだと思います。早めに取り組むほど働く場所の確保につながると思います。  |
| 委員  | 地元の企業が生きられるように行政がバックアップすることは非常に大事だと思います。   |
| 委員長 | 長尾地区の一部で新築が増えているのはなぜですか。   |
| 政策課 | 周辺に商業施設などもできたからだと思います。しかし、プラスまでにはなっていません。若い世代の市外からの転入もですが、市内移動もあるようです。   |
| 委員長 | ほかにありますか。ないようですので評価シートの記入をお願いします。<br><br><評価シート記入>   |
| 委員長 | 以上で、第4回行政評価委員会を終了します。<br><br><以上>  |